

2007年

夏

どうそ 満

議員活動報告



発行責任者 道祖 満

飯塚市鯨田2525-44

TEL 25-3280・22-9323

つくります!
newしいつがライフ

飯塚市議会議員 どうそ 道祖 満

e-mail:m.douso@fmwu.or.jp

鳴く声も高き梢の蝉の羽の

うすき日影に秋ぞ近づく

(伏見院)

皆様、お元気でお過ごしでしょうか。

3月11日に実施されました飯塚市議会議員選挙におきましては、温かいご支援を頂き心から感謝申し上げます。

昨年の12月21日に皆様の同意を得ることなく飯塚市議会議員を辞職し、改めて今回の飯塚市議会議員選挙に臨みましたが、ご理解を頂き2145票、23人中6番目の成績で無事当選することが出来ました。

今回は、皆様へのご支援の御願い、意見交換をする時間が少ない中での選挙と成りましたので、結果が出るまでは大変不安でしたが、2000票を越すご支援を頂き心から感謝の気持ちで一杯です。

新しい飯塚市の一期目の市議会議員を自覚して、皆様の声を、市の行政に反映するため一生懸命議員活動を行って参る所存です。

改選後、市議会では、3月19日に新しく選出された34名の市議会議員全員による全員協議会、4月2日から4月16日まで臨時市議会、6月12日から7月6日まで6月定例市議会が開催されましたので、この内容を中心に今回報告致します。

今後も温かいご支援をよろしく御願い致します。

2145票 23人中6番

ご支援ありがとうございました。

全員協議会開催

飯塚市議会では、選挙後3月19日に34名の市議会議員で全員協議会を開催し、会派構成など今後の市議会の運営について話し合いを行いました。

会派の構成については、1人でも構成できるが、3人以上で構成された会派については代表者を一人出して、代表者会議の交渉会派とすることを決め、公党の場合は、3人以下で有っても代表者会議に出席出来ることと致しました。

会派の届出は、3月22日までと決め、わたしは庄内区選出の市場義久議員、穂波区選出の田中廣文議員、飯塚区選出の松本友子議員と4人で、「民友クラブ」会派を構成致しました。

臨時市議会開催

飯塚市議会では、改選後初の臨時市議会を4月2日から4月16日まで開催致しました。

改選後の議会では、初めに議長の選出が行われ、古本俊克議員が議長に、続いて副議長の選出が行われ、松本友子議員が副議長に就任致しました。

わたしは、女性の副議長選出は、男女共同参画社会と言われる今日に適応し、評価出来る事だと思っています。

初日には、その後会期の決定を経て、議会運営委員会委員の選出、各常任委員会委員の選出が行われ、わたしは、市民経済委員会に所属することになり、最終日に、監査委員に選出されました。

また、臨時市議会では、市議会議員選挙が3月に行われた関係で、平成19年度の各会計の暫定予算審議、飯塚市筑穂ふるさとセンター条例を廃止する条例、飯塚市平恒本町集会所条例を廃止する条例、飯塚市老人児童館条例を廃止する条例、飯塚市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例等が審議されました。

また、第1次飯塚市総合計画基本構想を定めることについては特別委員会を設置して6月定例会市議会まで審議することになりました。

飯塚市

160億円の暫定予算発表

伊藤邸運営費に600万円

4/4 西田本

飯塚市は三日、三月三十一日に専決処分した二〇〇七年度一般会計暫定予算や条例改正などの義務的経費が中心。

執行部は同日、予算や条例の専決処分承認案など計五十六議案を議会に提案した。同市では、三月に出直し選があった影響から、〇七年度当初予算の編成ができず、暫定予算での対応を決めた。一般会計の歳出は、生活保護などの扶助費六十一億円、人件費三十三億円、物件費二十九億円など。主な事業では、四月から四歳児までの医療費を無料化することに伴う負担分約六千七百万円を計上した。また、二十八日から一般公開する旧伊藤伝右衛門邸の管理運営費約六百万円も盛り込んだ。専決処分された条例改正は、管理職手当の減額や職員の出張に関する日当の見直しが主で、年間計約一千万円の財政削減を見込んでい

西田本 新 賞

2007年(平成19年)4月4日 水曜日

「議員報酬を日割りに改正」を提案可決

臨時市議会では、わたしが提案者として、4月13日開催の議会運営委員会に、市議会議員の報酬をこれまでの月額から、その月の在職日数に応じて「日割りで支給」する条例改正案の提案を行い、4月16日の臨時市議会で全議員の賛同を得て可決されました。

これまでの条例では、通常の議員任期満了を前提としており、今回の様なりコールによる任期途中の議員辞職を考慮していなかったため、2月4日の住民投票まで在職した議員には、4日間で1ヶ月分の報酬が支給されました。

また、今回3月12日で選出された議員にも1ヶ月分の報酬が支給されたことを受けて今後このような矛盾が生じない様に条文を改めました。

6月定例会市議会報告

6月定例会市議会が、6月12日から7月6日まで開催されました。

6月12日の本会議では、臨時市議会で提案された「第1次飯塚市総合計画基本構想を定めること」に関して、この特別委員会の審議報告がおこなわれ委員会としては原案通り賛成多数で可決すべきものと決定したとの報告があり、本会議においても賛成多数で可決致しました。

今回の6月定例会市議会では、平成19年度の各会計の当初予算案が提案されました。

一般会計予算は534億8千万円で、その主な経費は乳幼児医療費無料対象年齢を4歳未満から5歳未満に引き上げる費用6608万円、鯉田地区の三菱炭坑跡地に工業団地を造成する関連費用454万3千円、職員採用試験関連経費398万1千円、男女共同参画推進事業関連214万6千円、報酬審議会委員報酬35万4千円、伊藤伝右衛門邸関連経費1731万3千円、飯塚第一中学校耐震大規模改造事業（耐震診断調査委託、耐震大規模改造設計委託）3800万円等で、企

享月 日 業庁 局
2007年(平成19年)4月17日 火曜日

飯塚市議会は16日、臨時議会を開き、月額で定額支給されていた議員報酬を在職日数で「日割り計算」にする条例改正案を全会一致で可決した。同日付で施行された。市議会事務局によると、日割り報酬の導入は県内28

市で27番目という。今後は、任期満了や辞職、失職、解散などで議員が離職した場合、その月は離職日までの報酬を日割りで支給する。正副議長手当なども同様。改正案は道祖満氏(民友クラブ)が提案した。

同市議会は、住民団体のリコール(解散請求)を受けた2月4日の住民投票で即日解散したが、わずか4日間の在任で2月分の報酬が満額支給された。73人で計約2150万円。日割りなら約310万円で済んだ。解散

飯塚市議報酬、日割りに 月額制からの変更可決

19.4.17
選を受けた3月12日の市議選で当選した34人にも3月分が満額支給された。古本俊克議長は議員報酬や政務調査費の減額について各会派に提案中。意見集約して6月議会で可決を目指すという。

業会計の飯塚市立病院会計では、飯塚市立病院として来年4月から運営する筑豊労災病院を購入する費用3億円が計上されました。

また、今回、一般会計繰入金と鯉田工業団地造成事業債を合わせて1億784万3千円の工業団地造成事業特別会計が新たに設けられました。

条例議案では、証明書等の交付の手数料を200円から300円に改定する「飯塚市手数料条例等の一部を

改正する条例」、飯塚市第一中学校に設置されている教育研究所を穂波庁舎に移転する「飯塚市教育研究所条例の一部を改正する条例」、男女共同参画社会の形成を促進する「飯塚市男女共同参画推進条例」、筑豊労災病院を来年4月1日から市立病院とし管理運営を社団法人地域医療振興協会に指定する「指定管理者の指定について(飯塚市立病院)」、工業用地造成事業特別会計を設置し公営企業債を財源に鯉田工業団地造成事業を実施す

毎日新聞

2007年(平成19年)6月5日(火曜日)

飯塚市
当初予算案

12.91%減の534億円

基金取り崩しは10億円増

19.6.5
毎日

飯塚市は4日、09年度の当初予算案を発表した。一般会計の総額は534億8000万円。昨年度に比べ12.91%減。人件費や投資的経費の抑制など行財政改革効果として23億9000万円を見込んだ。ただ、財政調整基金の取り崩し額は25億円。昨年度より10億円増えており、依然として厳しい財政状況が続いている。

歳出減の要因は、昨年奨励(46)、定年退職(22)など計80人が退職した分を不補充にした。その他、投資的経費の削減も合わせ行革効果は23億9000万円と、当初の行革計画の目標額を上回った。

ただ、実質的な赤字にあたる財政調整基金取り崩し額は昨を上回り、同基金の残高は18億2400万円。厳しい財政状況が続いている。

【井上元宏】

る「飯塚市特別会計設置条例の一部を改正する条例」、飯塚・ちくほ・庄内の図書館の管理運営を指定管理者にする「飯塚市立図書館条例の一部を改正する条例」等の41件の議案について審議致しました。

この中で、3個所の図書館の管理運営を指定管理者に委託する件については、継続審査となり9月定例会市議会までに結論を出すことになりました。

わたしは、この図書館の管理運営については、文部科学省が4月に公表した「これからの図書館像—地域を支える情報拠点をめざして、(これからの図書館の在り方検討協力者会議報告書)」にあります内容

- 住民の生活、仕事、行政、学校、産業など各分野の課題解決を支援する相談・情報提供の機能の強化

- 図書館のハイブリッド化（印刷資料とインターネット等を組み合わせた高度な情報提供）
- 学校との連携による青少年の読書活動の推進、行政、各種団体等との連携による相乗効果の発揮
- 図書館経営の改善（図書館の資源配分の見直し、職員の意識改革など）

について十分検討を行い飯塚市にふさわしい図書館の在り方を厚生文教委員会で審議する様に要望致しました。

「費用弁償を実費支給に改正」を提案可決

わたしは、6月定例会議の6月12日の本会議で、これまで市内のどこからでも本会議・委員会に出席した場合一律に日額1800円が支給されてきましたが、市の行財政改革が進む中で市民の皆様には説明が出来る支給基準を設けるべきだと考え、実費支給に変更することを提案し賛成多数で可決致しました。

この内容は、自宅なり事務所なりを基点にして、市役所にどの経路で、どの方法で、至るのかを事前に届け出て、それに係る費用を支給するもので、公共交通機関はその係る金額、自動車・自動二輪車については1km当たり37円、自転車・徒歩については支給しない。と、しています。

この事により約200万円の経費削減効果が、見込めます。

わたしは、自宅を基点に市役所まで約2kmですので徒歩で届け出ました。

従って今後は、費用弁償は頂きません。

毎日新聞

2007年(平成19年)6月13日(水曜日)

<p>飯塚市議会は12日開会した本会議で、本会議や委員会出席のために支給される「費用弁償」を、従来の日額1800円から実費支給に変更する条例改正案を賛成多数で可決した。費用弁償をなくす改正案も提案されたが否決された。実費制導入による経費削減は約200万円と見込まれ、今後は政務調査費の見直しに焦点となる。</p>	<p>飯塚市議会は12日開会した本会議で、本会議や委員会出席のために支給される「費用弁償」を、従来の日額1800円から実費支給に変更する条例改正案を賛成多数で可決した。費用弁償をなくす改正案も提案されたが否決された。実費制導入による経費削減は約200万円と見込まれ、今後は政務調査費の見直しに焦点となる。</p>
--	--

飯塚市議会

「費用弁償」を実費支給

経費削減効果は200万円

6/13 15日

実費案は、道祖満議員(民友クラブ)が提案。本会議や委員会に出席した場合の交通費として1キロ当たり37円、または、かかった電車やバスの運賃を支給する。議会事務局などによると、今年度の費用弁償の予算は約270万円。実費では、最もでも往復の経費で1日1100円となる見込みで、削減額は約200万円程度になるという。同市議会は定数34で、議長を除く33人中18人が賛成、可決した。同日から施行される。

本会議では費用弁償の廃止案も、田中裕二議員(公明党)が提案した。芳野潮議員(明飯クラブ)らが「費用弁償は報酬の二重取りとの指摘もあり、多くの自治体でも廃止されている。行政のチェック機関として、自ら判断することが議会改革につながる」と賛成討論したが、33人中15人の賛成少数で否決された。

同市議会は4月、議員報酬を月額制から「日割り制」に変更する条例案を可決。費用弁償の実費への変更はそれに続くもの。今後は、政務調査費(議員1人当たり年間60万円)の見直しに移る。

【井上元宏】

「政務調査費の減額改正」を提案可決

飯塚市議会

政務調査費2割削減

条例改正 年間408万円の効果

飯塚市議会は6月定例会最終本会議(6日)で、議員の政務調査費を2割削減する条例改正案を賛成多数で可決した。現行の月額5万円を4万円とし、経費削減効果は年間408万円。討論では賛否双方とも政務調査費の必要性を強調。その上で、今後の議員報酬や定数見直し議論の公開を求める意見が出された。

改正案は8月1日から施行される。同市議会では先月、出席のたびに支給される交通費にあたる「費用弁償」を、従来の月額18000円から実費支給に変更する条例改正案を賛成多数で可決している。二つ合わせると約600万円の経費削減が見込まれる。

本会議では提出者の道祖満議員(民友クラブ)が「市が行財政改革に取り組む中で、議会として少しでも前向きに協力すべき」と説明した。

反対討論した楡井莞爾議員(共産党)は「政務調査費は議員活動にどうしても必要。だが、調査費が無駄に使われているのではないか、という市民の懸念もある。額を下げる方向で、市民の意見を聞く場を設けてから決めるべきだ」とした。賛成討論した兼本鉄夫議員

(明飯クラブ)は「今後議員報酬、定数見直しなどは特別委員会(公開)で審議した方がいい。江口徹市議(未来)は「改革の第1歩として賛成。政務調査費使用の成果公表のあり方を充実させるべきだ」と主張した。採決では議長を除く32人のうち、共産党を除く30人が賛成した。

政務調査費を巡っては「オンブズパーソンかほ」(柴田峰世代表理事)が5月、市の厳しい財政状況を理由に政務調査費廃止を陳情していた。条例改正について鮫島恭一副代表は「行財政改革で市民負担は増えている。なぜ2割削減なのか、根拠を説明してほしい。今後は議員報酬、議員定数の削減も働きかけていきたい」と話した。

飯塚市議会は6日、最終本会議(6日)で、議員の政務調査費を2割削減する条例改正案を賛成多数で可決した。現行の月額5万円を4万円とし、経費削減効果は年間408万円。討論では賛否双方とも政務調査費の必要性を強調。その上で、今後の議員報酬や定数見直し議論の公開を求める意見が出された。

飯塚市議会は6日の最終本会議で、総額534億8000万円となる07年度当初予算案など41議案を原案通り可決、閉会した。

可決された予算では敬老祝い金の見直しも含まれており、従来70歳以上一律5000円支給されていたのを節目ごとの

代表は「行財政改革で市民負担は増えている。なぜ2割削減なのか、根拠を説明してほしい。今後は議員報酬、議員定数の削減も働きかけていきたい」と話した。

支給に変更。支給額は77歳で8000円▽88歳で1万5000円▽99歳で2万円▽100歳以上は3万円。

【井上元宏】

わたしは、7月6日の6月定例会最終日に、市が行財政改革に取り組む中で議会も「費用弁償」に引き続き更に協力すべきだと考え、議員の調査研究の為に支給されている「政務調査費」を、現在支給されている月5万円から4万円に減額する条例改正案を提案し賛成多数で可決されました。

他の地方自治体での政務調査費の用途について問題報道がなされ政務調査費について関心が集まっていますが、政務調査費については平成12年5月の地方自治法改正の際定められました。

現在の飯塚市の政務調査費は昨年3月26日の合併前の旧飯塚市で、平成13年3月議会で審議し定めた内容を引き継いでいますが、その制定の際には、議会運営委員会で2日間で6名の参考人から意見を聞き、その意見を参考に、用途の透明性確保のため領収書を1円から添付し、収支・実績報告書を作成し公表すること、支給された金額に残金がある場合は、収支・実績報告書と伴に返却する事と定め現在に至っています。

わたしは、今後も市議会の在り方について市民の皆様の意見をお聞きしながら積極的に取り組んで行く考えています。

わたしは、今後も市議会の在り方について市民の皆様の意見をお聞きしながら積極的に取り組んで行く考えています。

わたしは、今後も市議会の在り方について市民の皆様の意見をお聞きしながら積極的に取り組んで行く考えています。

松尾工業団地に企業進出

現在、飯塚市内で分譲出来る工業団地は、旧颯田町勢田に有ります松尾工業団地の6区画75938㎡で、この中の3区画45152㎡には昨年12月から3社の企業が進出してきました。

また、残る3区画30786㎡についても自動車関連企業からの問い合わせが有っていますので、近い時期に完売される可能性が出てきています。

進出してきた企業は、

○平成18年12月にヒロホー株(自動車・電機等の部品を送る容器の製造)

○平成19年3月にエーディーシステム株(金型・部品加工・射出成形加工)

○平成19年6月スギヤマプラスチック株(自動車用プラスチック部品製造)

の3社で、2社が社屋も完成して操業体制にあり、3社の従業員数は最終的には、約160名程度が計画されています。



(松尾工業団地へ進出した、右側ヒロホー株・左側エーディーシステムの社屋)

鯉田工業団地造成へ

本年の新春の議員活動報告ですすでに報告していますが、飯塚市は、旧飯塚市から懸案事項でありました鯉田地区の三菱マテリアル株所有の旧三菱炭坑三坑のボタ山跡地の開発に取り組むため、飯塚市工業用地造成事業特別会計予算を設け、今年度は造成設計等委託料、上・下水道工事測量設計等負担金約1億7百万円が計上されました。

約41,4haの土地を実質無償で譲り受け、約25haを造成し取り付け道路・調整池等を除いた約15haを分譲する計画で、分譲開始は平成22年の4月からを予定し、自動車関連企業の誘致を図り、地域産業の活性化と雇用の拡大を目指します。

現在、県では北部九州地区での自動車生産台数150万台を目指し、関連企業の誘致と地場企業の育成に取り組んでいますので、将来の地域経済の発展を考えると、この鯉田工業団地の整備は早急に完成することが望ましいと考えています。

「非核平和都市宣言」制定

飯塚市では、合併前1市4町で制定されていましたが「非核平和都市宣言」を、改めて8月1日に制定することを、7月6日の市議会本会議で決めました。

「飯塚市は美しい山河とみどり豊かな自然のなかに、歴史と伝統ある薫り高い文化の息づくまちです。

この郷土を大切に守り、平和な社会を築き、次の世代へと引き継いでいくことは、私たちに課せられた最大の使命です。

わが国は、世界唯一の被爆国として、人類の平和と安全に重大な脅威と危機をもたらす核兵器の存在を容認することは出来ません。

ここに飯塚市は、全世界のあらゆる核兵器の廃絶と人類共通の願いである世界恒久平和の実現を目指し、非核平和都市を宣言します。」

この「非核平和都市宣言」を制定するに当たっては、昨年7月に長崎の原爆資料館の視察を思い出しました。

長崎では、昭和20年8月9日に原爆が投下され、約7万4千名もの多くの人たちが亡くなり、また、多くの人たちを傷つけ、多くの被爆者が現在も苦しんでいます、被爆直後の惨状の関係資料が、原爆資料館に展示されています。

わたしは、この原爆資料館を視察して原爆の怖さ無惨さに驚き、今後再びこのような惨事を繰り返してはならないと思いましたので、この宣言には積極的に賛成致しました。

愛宕団地内バス路線延長

今年の4月より愛宕団地の西鉄バスの路線が、約500m延長されました。

この路線は、飯塚バスセンターから新飯塚駅前を経由して愛宕団地に至る路線ですが、愛宕団地・市の間地区の高齢化が進む状況の中で、地域の皆さんの利便性を高めるため、愛宕自治会の要望を受け市を通じて西鉄バスに路線延長の御願いをして参りました。

今回、従来の愛宕団地バス停から愛宕団地第三集会所までの間、新たに2個所のバス停を設け約500m路線が延長されました。

